

北海道新体操大会ジュニア徒手団体 2025

〈人数〉 4～8人

■点数配分

要素/配分	技術的価値 (D)	注意及び関連事項
身体難度 DB 3～6難度	・ジャンプ/リープ 最低1個 0.1～ ・バランス 最低1個 0.1～ ・ローテーション 最低1個 0.1～ ・自由選択 最低1個～最高4個 0.1～	・難度は同時または早い連続で次々と、サブグループではなく全員で行う ・自由選択の難度は異なるタイプと価値にて実施してもよい
ウェーブ W Max0.6	・ウェーブ（全身を使った波動） 各0.3 最高2個	・全て単独での加点。各1回 ・難度は同時または早い連続で次々と、サブグループではなく全員で行う ・一つは立位で、もう一つは自由選択
アームムーブメント Arm Max 0.6	・最低2種類の腕の動きの組み合わせで 各0.2 3つ	・腕の動きとは腕の波動、振り、回旋、8の字など移動中、立位、座位で使用可。 ・手首だけの動きは腕の動きではない
ダンスステップ コンビネーション S 最高4つ	・ダンスステップ 各0.3 8秒以上	・ダンスステップシリーズにはプレアクロバット要素・DBはいれないこと ・アームムーブメントと合わせて行ってもよい ・全員で行う事
回転を伴う プレアクロバット R Max 0.4	・垂直軸とプレアクロバット要素での組み合わせ	・全員で同種類のものを同時・同方向に実施 ・回転軸の変更で0.1加点 （例：シェネ2回+前転1回=R3Z 0.4点） ・シリーズで2～3回転（4回転は禁止）
連係 C 6～10個	・プレアクロバット要素を伴った連係（CR） 0.3 最低2個 ・回転を伴わない連係（C） 最低2個 0.2 ・リフティング（CL） 最高1個 0.2	・CR連係はパートナーの上、下、中をくぐりぬける事 ・C連係はチーム全員が関わっていること
注意点	・身体難度及び連係について不足は減点する（多いものはカウントしない） ・DB難度のカウントは実施順にカウントする ・フォーメーションは最低6個実施すること ・プレアクロバット要素グループから同じ要素を実施した場合は2回目以降は無効 ・CLで人を持ち上げて移動や引きずる場合2歩までは良い ・人の上を歩く場合1歩までとする。（2歩以上は禁止）	

※リフト（CL）とは立位の状態の肩よりも高く持ち上げることをいう